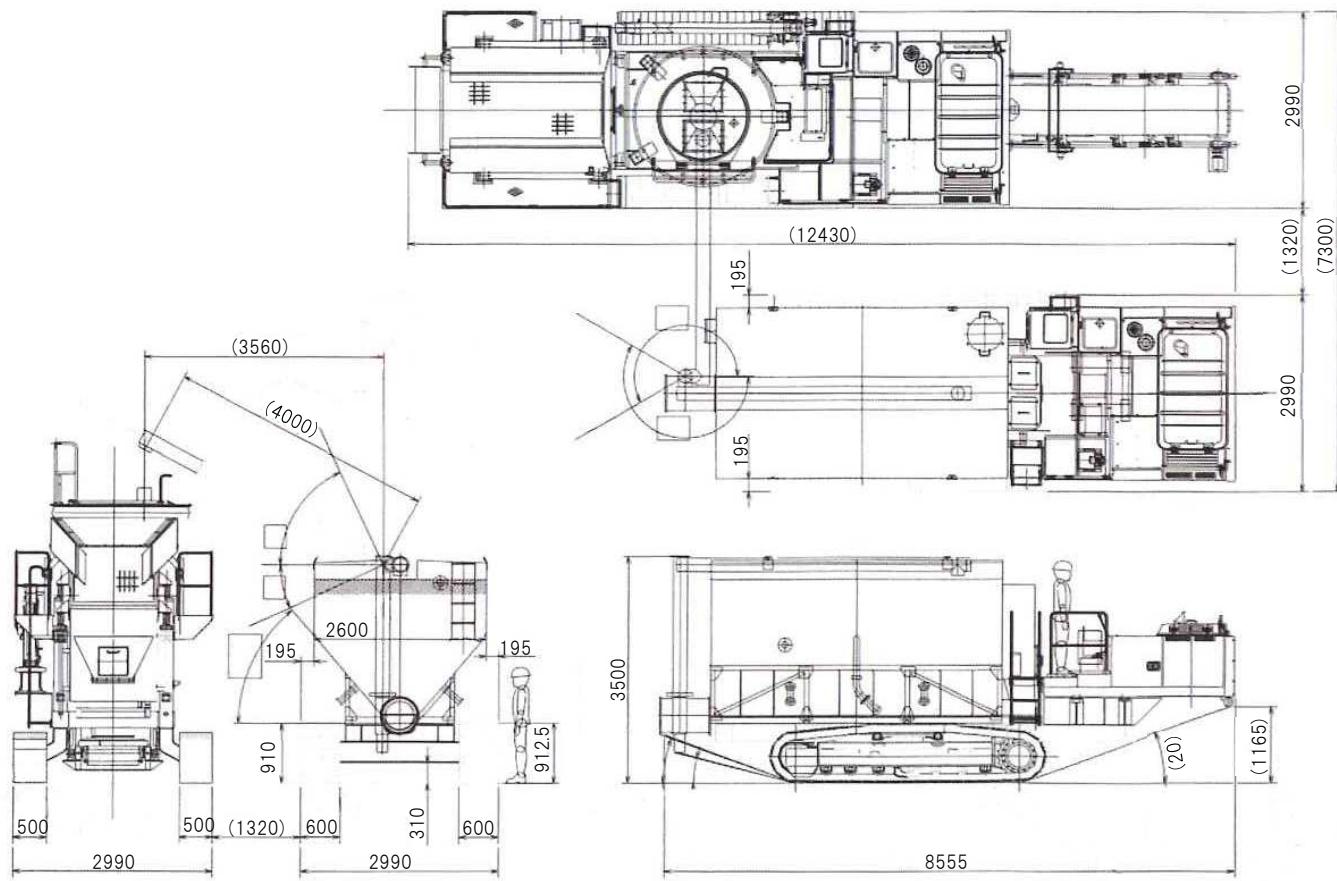


●仕様

質量(サイロ空時) kg	17,000	走行速度 km/h	3.8	
サイロ容量 m ³	18			
寸法 (mm)	タンブラー中心距離 mm	3,370	名 称	いすゞA-6BG1T
	クローラ全長 mm	4,170	型 式	ターボ付直接噴射式
	シュー幅 mm	600	定格出力 kw/min ⁻¹ (PS/rpm)	99/1,950(135/1,950)
	全長 mm	8,555	油圧ポンプ型式	可変容量型ピストン式
	全幅 mm	2,900	定格出力 MPa(kg·f/cm ²)	34.3(350)
	接地圧 kPa(kg·f/cm ²)	3.7(0.38)	燃料タンク ℥	310
			作動油タンク ℥	200

●寸法図



お問い合わせ

MORIGUMI

株式会社 森組

〒541-0045 大阪市中央区道修町四丁目 5 番 17 号

TEL. 06-6222-5091 FAX. 06-6222-5095

<http://www.morigumi.co.jp>

Abezen

株式会社 アベゼン

〒982-0804 宮城県仙台市太白区鈎取 2 丁目 24-37

TEL. 022-245-1277 FAX. 022-245-1288

<http://www.kk-abezen.co.jp>



- 1- 粉塵災害の防止
- 2- 固化材費の低減
- 3- クレーン作業不要による安全性の向上
- 4- 固化材供給作業の省力化
- 5- 安定の固化材保管性能



概要説明：自走式土質改良工は原料土を現地改良する場合に用いられ、プラントが建設できない狭隘地や長距離移動が必要な条件でも現地施工が可能である。その際、固化材として使用するフレコンはタイヤ式運搬車で搬入されるが、自走式土質改良機までの搬入走路が走行できない場合には、その区間について不整地運搬車による積替え運搬を行う必要がある。土質改良時には、土質改良機付属クレーンでフレコンを貯留装置上まで吊上げて、袋底を開き改良材を落下投入する。

本技術は、固化材にバラ材を使用し、現場に粉粒体運搬車で到着してから使用するまでを無粉塵投入自走式サイロで行うものである。無粉塵投入自走式サイロは、粉粒体運搬車から固化材を受け取ってから土質改良場所まで自走し、サイロ付属の排出用スクリューコンベア先端にある排出シートを、土質改良機の貯留装置に取付けられた蓋に固定して、固化材を圧送する。直結密閉することで、粉塵の飛散がないようになっている。

概略図：従来技術と新技術

《従来技術》

タイヤ式運搬車両が走行可能な場所までフレコンを搬入し、そこから自走式土質改良機までは不整地運搬車に積替えて運搬を行う。



《新技術(無粉塵投入自走式サイロ)》

粉粒体運搬車が走行可能な場所までバラ材を搬入し、そこから自走式土質改良機までは無粉塵投入自走式サイロに積替えて運搬を行う。

